

# 図書だより

平成30年11月15日  
秋田県立視覚支援学校  
図書委員会発行  
No.6

## 秋盲祭 図書委員会壁新聞！！



10月20日(土)に行われた秋盲祭で、図書委員会は、「壁新聞」の掲示を行いました。

壁新聞は、「地域支援室」にありましたが、皆さん見ていただけましたか？内容は、『秋田の方言』と『おすすめ本の紹介』でした。

「方言」の方は、委員会の児童生徒が知っている方言を「気持ち」「様子」「動き」「名前」に分

類してまとめました。また、「おすすめの本」の方は、今年度の図書委員4名が、図書だよりで紹介したものを載せました。

この「壁新聞」は現在、図書室前の廊下に掲示してありますので、ぜひご覧ください！

◆ 図書委員が調べた方言の中から三つほど紹介します。

皆さんは、次の秋田弁の意味がわかりますか？

- ①じゃわめぐ
- ②とぜねあ、とちえね
- ③へちゃまける

(※答えは、この図書だよりのどこかにあります！)



新聞作りをする図書委員

◎さて、県立図書館から借りた本の中より、詩を一つ紹介します。

紹介

吉野 弘

一歳です

おいた、します

おなか、空すきます

おっぱい、たっぷり飲みます

お通じ、あります

よく眠ります

夜泣き、しません

寝起き、ご機嫌きげんです

固かた太りです

ダイエット、まだです

女性です

柔肌やわはだです

おしめ、まだ取れません

※詩集「二人が睦まじくいるために  
は」(童話屋)より

吉野 弘 詩人。一九二六年(大正一五年)〜二〇一四年(平成二六年)山形県生まれ。八七歳没

# ◆図書委員によるおすすめの本コーナー

## 今月は、高等部1年の **O. M.** さんです！



### 「ピアノはともだち」<sup>きせき</sup> ～奇跡のピアニスト辻井伸行<sup>つじいのぶゆき</sup>の秘密

こうやま のりお 著（講談社）

みなさんは、全盲のピアニスト、辻井伸行さんをご存知ですか？

私は、音楽が好きで、ピアノを小学部高学年の頃からひいています。それで、この本を借りてみました。

私はこの本を読んで、印象に残ったことが三つあります。

一つ目。辻井さんは、20歳の時、世界的な「ヴァンクライバーン国際ピアノコンクール」で優勝しました。目が全く見えず、楽譜も見えないのに、なぜ音ははずさず演奏できるのだらうと思いました。

二つ目。辻井さんは、生まれてから普段の生活の中で、音にとっても敏感でした。洗濯機や掃除機の音などを聞くと、火がついたように泣いたり、環境が変わり、慣れない音がすると、泣き出したりしたそうです。私も小さい頃から音には敏感だったと思いますが、そこまでではなかったのではないかなと思います。

三つ目。辻井さんは、生まれて8か月の頃、昼と夜が逆転してしまって、お母さんは、くたくたに疲れ、ストレスがたまっていたそうです。そんな中、お母さんは、あることに気がつきます。彼は、有名なピアニスト、スタニスラフ・ブーニンの演奏する「英雄ポロネーズ」の時は、足をバタバタさせて喜ぶのに、他の人の演奏の時は、機嫌が悪くなったのです。そんなの「錯覚だよ」と言われても、お母さんは、辻井さんの「耳の才能」を信じました。そして、その才能を伸ばして上げようと環境を整えていきます。そして、1歳半の時に、ピアノの先生につきます。子育てに悩みながらも、辻井さんの才能に気がついたお母さんはすごいと思いました。

さて、今では、世界の人たちが注目する、辻井伸行さんですが、いつも聞く人を楽しませたいと、心をこめて演奏し、その美しい音色で多くの人を感動させています。

わたしは、生きているうちに一回でも、彼の生演奏を聴いてみたいです。そして、辻井さんに会うことができたらいいなあと思っています。

みなさんも、ぜひこの本を読んでみてください。



【こうやま のりお】1960年（昭和35年）埼玉県生まれ。ノンフィクション作家。

※この本は、図書室に点字版も活字版もありますので、読んでみたい方はご利用ください！

## ◆あきたスマートカレッジ 点訳ボランティアさんより 手作り点字図書を2冊いただきました!

10月20日(土)の秋盲祭では、「あきたスマートカレッジ・点訳ボランティアになろう」の講座(秋田県生涯学習センター主催)を受講した皆さんより、次の手作り点字図書を2冊いただきました。図書室に配置し、利用させていただきます。

★点訳ボランティアの皆さん、  
ありがとうございました!



点字図書を受けとる O.M.さん



① なぞなぞのすきな女の子

松岡 享子 作  
きょうこ

② なぞなぞライオン

佐々木 マキ 作

## Sさんの『読み聞かせボランティア デイジー』



ある10月末のお昼休み、小3、Sさんの教室をのぞくと何やらお友だちや先生が集まっています。その日は、Sさんの久しぶりの『読み聞かせボランティア デイジー』の日でした。

6月から時々お昼休みに皆さんに集まってもらって、読み聞かせをしているそうです。

この日の本は、「みえるとか みえないとか」(ヨシタケ シンスケ 作)という絵本でした。ボランティアを続けているうちに、人前で読むことに自信がついてきたSさんです。毎回のおすすめ本のチョイスも楽しみです。Sさんの「今日はデイジーやりま〜す!」の声を聞いた方は、ぜひ聞きに行ってみてください!



【秋田弁の答え】①じゃわめぐ(寒気がする) ②とぜねあ、とぢえね(さびしい)  
③へちゃまける(おせっかい) ◎ 皆さん、わかりました?